

21世紀のまちづくりを目指し

鉄道高架事業により

10月8日(日)から通行止めに

汐見橋が

取り壊されます

二十八年もの長きにわたって市民の皆さんに親しまれてきた「汐見橋」は、鉄道高架事業の仮線敷設工事に支障となっておりましたが、いよいよ十月に取り壊されることになりました。

「汐見橋」は、国道二十三号と県道蒲郡碧南線(市役所通り)を結ぶ一日約八千五百台もの車が通る蒲郡市の大動脈です。

それだけに、この橋が取り壊されることによつて周辺道路の渋滞、踏切の混雑等の影響が予測されます。

そのために代替道路として、竹谷町(競艇場北側)国道二四七号(鹿島

バイパス)の一部を十月二日から(予定)開通し、交通の緩和を図つてまいります。その他に、車の流れがスムーズになるように交差点を改良したり、車を分散させるよう道路案内標識などを設置してまいります。それでも一部の踏切では交通量がふえるものと予測されます。

市民の皆さんには、何かと迷惑とご不便をおかけしますが、この高架事業の趣旨を十分ご理解のうえ、高架(ガード)下・陸橋のあるルートなどをご利用していただき、事業が完成するまでの間、ご協力くださるようお願いいたします。

＝汐見橋お別れセミナー＝

日時 十月八日(日) 午後二時～
(雨天の場合は、十五日(日)に順延)

場所 汐見橋

アトラクションとして、蒲郡市吹奏楽団・和太鼓サークル海燕・塩津

小学校プラスバンド等の演奏による渡り納めの行進があります。

なお、アトラクション終了後、先着三百五十名(当日会場にて、整理券を配付します)の人に花台(奥三河の間伐材利用)をお配りします。

